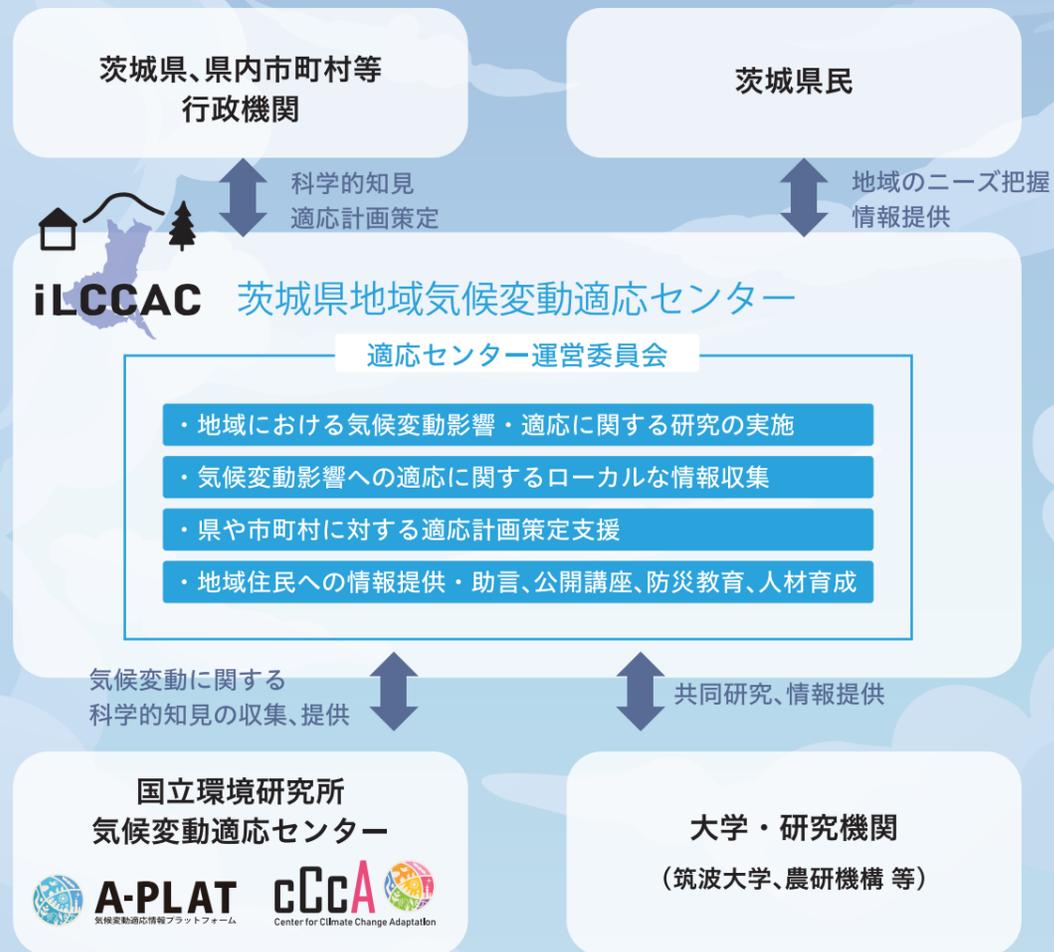


## ■茨城県地域気候変動適応センターでは…

茨城県をはじめとする県内の自治体や各種団体や学校、そして住民の皆さまと協力して気候変動・温暖化の影響やその適応のための様々な情報を収集・解析し、広く発信していきます。茨城大学では、茨城県内外の関連する調査・研究機関の協力も得ながら、これまで10余年にわたって気候変動適応に関する研究を行っております。それらの最新情報と、住民の皆さまが日々感じられている生の情報をうまく組み合わせて、発信していきたいと思っております。

今後、ワークショップやインタビュー・聞き取り調査などで、センター関係者が地域の皆さまの元へ伺うことがあると思っております。ご協力の程、宜しくお願いいたします。

## ■センターの体制



事務局・問い合わせ先：

## 茨城県地域気候変動適応センター

〒310-8512 茨城県水戸市文京 2-1-1

茨城大学 地球・地域環境共創機構 (GLEC)内

TEL | 029-228-8800 FAX | 029-228-8584

Mail | iLCCAC@ml.ibaraki.ac.jp

URL | <https://www.ilccac.ibaraki.ac.jp>



茨城県地域気候変動適応センターは、地球温暖化や気候変動の影響に対応していくため、「気候変動影響及び適応に関する情報の収集、整理、分析、提供、技術的助言を行う拠点」(気候変動適応法第13条)として、2019年4月1日に茨城大学に設置されました。茨城県の関係機関と連携しながら地域における気候変動への適応に取り組んでいきます。

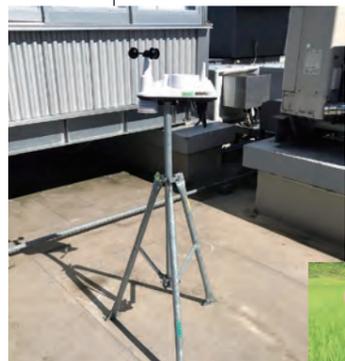
# Our Mission

茨城県地域気候変動適応センターの主なミッション

## 01

### 地域における 気候変動影響・ 適応に関する研究の実施

- 茨城県の気候変動ダウンスケーリング
- 地域特性に応じた農業、災害等の気候変動影響予測、適応支援ツールの開発
  - ・ 水稲、野菜、風水害、沿岸影響予測等
  - ・ 適応評価、オプション提示
- 農業等の適応技術開発、フィールド実証実験等



気候変動への  
適応とは…

平均気温上昇、集中豪雨の増加、さらに海面上昇など、地球温暖化・気候変動の影響にはいろいろありますが、それらへの対策は大きく2つに分けられます。ひとつは「緩和策」で、温暖化の進行を止めようとする対策です。二酸化炭素の排出削減や、化石燃料によるエネルギー消費の削減などがあります。もうひとつが「適応策」で、温暖化によって生じた影響に対して対策をとるものです。例えば、低地の浸水被害に対して堤防建設や土地の嵩上げを行ったり、十分な収量を見込めなくなった農作物の品種を変更・改良したりすることが考えられます。

多くの気候の将来予測によれば、今後ある程度の温暖化は避けられないため、いかに温暖化およびその影響とうまくつきあっていくかが重要になります。

## 02

### 気候変動影響への 適応に関する ローカルな情報収集

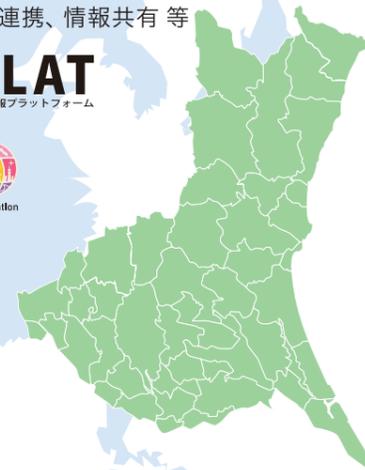
- 農地、市町村気候モニタリングネットワーク構築
- 農業・漁業、防災関係者等へのインタビュー、アンケート調査等



## 03

### 県や市町村に対する 適応計画策定支援

- 茨城県気候変動適応計画策定支援
- 茨城県内市町村適応計画策定支援
- 豪雨災害等自治体職員向けワークショップ、広域協議会への参加
- A-PLAT、国立環境研究所気候変動適応センター(CCCA)との連携、情報共有等



主な活動…

茨城県地域気候変動適応センターでは、2019年度に茨城県の農業について影響予測、アンケート調査などを実施し、冊子「茨城県における気候変動影響と適応策：水稲への影響」を作成することができました。今後は、防災や水産業など他分野でも情報をまとめていきたいと思っております。また、各市町村の適応計画策定にも協力していきます。

## 04

### 地域住民への 情報提供・助言、公開講座、 防災教育、人材育成

- 冊子「茨城県における気候変動影響と適応策」の作成
- 市町村、小中高校での防災ワークショップ
- 茨城エコ・カレッジ、公開講座等での地域人材育成等

